

平成26年度
がん対策情報センター 患者・市民パネル
活動に関するアンケート結果

□回答期間

平成27年2月26日から平成27年3月31日

□対象者

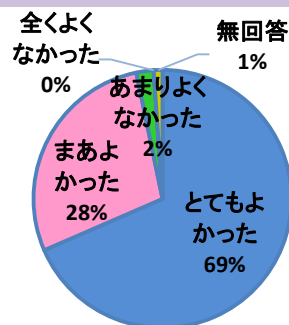
国立がん研究センター がん対策情報センター
患者・市民パネル 計100名

□回答者数

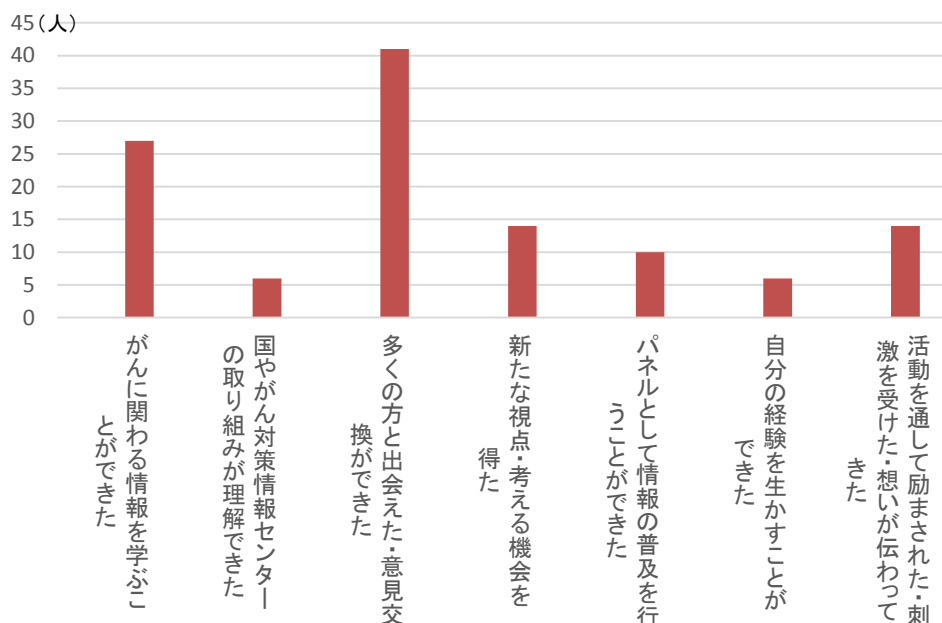
92/100名

問1 患者・市民パネルに参加してよかったですか。

とてもよかったです	63
まあよかったです	26
あまりよくなかったです	2
全くよくなかったです	0
無回答	1
合計	92



問1-2 患者・市民パネルに参加して良かった点があれば具体的にお書きください。



●具体的な意見

■がんに関わる情報を学ぶことができた

- ・色々な情報に接する機会になり勉強になった。
- ・「患者・市民パネル」に参加することにより、また、多くのがん体験者に接し、お話をお伺いすることで、がんに対する知識・認識など多く理解することができた。

■国やがん対策情報センターの取り組みが理解できた

- ・がん対策情報センターの役割を知ることができた。
- ・国のがんに対する取り組みを理解することができた。

■多くの方と出会えた・意見交換をすることができた

- ・全国の患者・市民パネルの方々と交流がもてたこと。いろいろな思いを聞くことができた。
- ・全国で活躍する仲間と知り合い、情報交換をすることができた。

■新たな視点・考える機会を得た

- ・がん対策に関して常に最新の情報を持っておこうと自らが気を付けるようにできた。
- ・今、自分が何をやるのか？目標がもてた。啓発運動の大切さなど改めて自覚することができた。

■パネルとして情報の普及を行うことができた

- ・全国規模のがん対策に関する情報を収集でき、少しでも地域の人たちに還元できた。
- ・情報をタイムリーに、患者・患者支援団体等に流すことで、情報提供に少しでも寄与できたのではないかと思います。

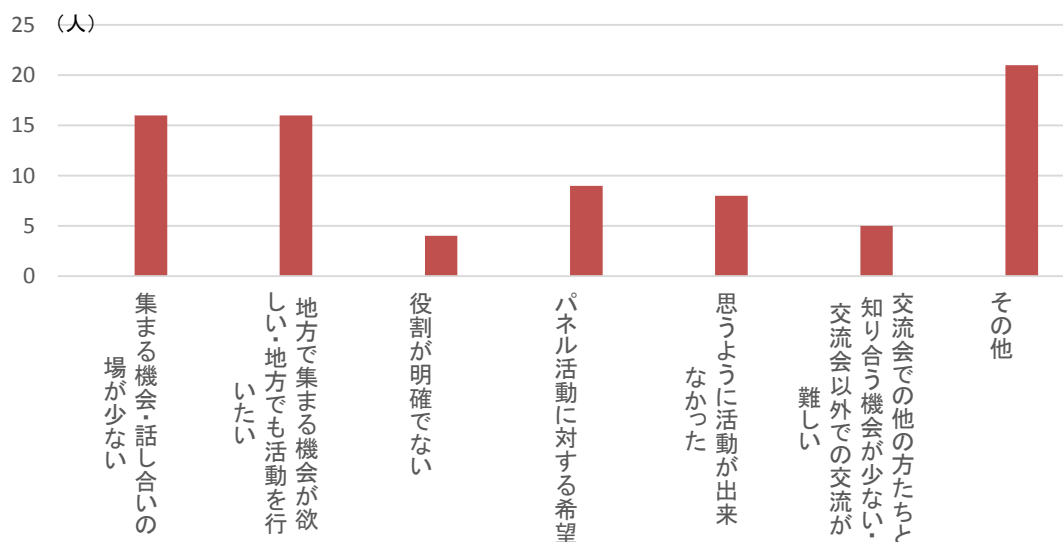
■自分の経験を生かすことができた

- ・同じ境遇の人々に対して少しでも役に立つことができたかなと思うと良かったと思う。
- ・ほんの少しだったが、アンケートなどで自分の経験を生かすことができた。

■活動を通して励まされた・刺激を受けた・想いが伝わってきた

- ・全国の患者さんの熱い気持ちが伝わってきた。
- ・参加者の皆さんががん治療向上のために活動されている姿をまじかに接して刺激を受けた。

問1-3 患者・市民パネルに参加して問題や課題と感じたことがあれば具体的にお書きください。



●具体的な意見

■集まる機会・話し合いの場が少ない

- ・もっと集まる機会などがあれば良かったなと感じた。
- ・事務局の予算も厳しいとは思いますが、パネルの方々が一堂に会える機会が多くなればよいと思う。

■地方で集まる機会が欲しい・地方でも活動を行いたい

- ・エリア毎(近畿、東海)などに集まれる機会があればさらに活発な情報交換ができたと思う。
- ・遠方であったため、都合がつかない時などがあつた。集まる場合は各地域であつまるももっと活性化しように思う。

■役割が明確でない

- ・あまり役割が明確でないので、行動をどう起こしていくべきものかわからない。
- ・具体的に募集された仕事以外は何をしたらいいのかわからなかった。

■パネル活動に対する希望

- ・私たちが携わった意見交換やアンケートが在籍中に事業として反映されることが少ないので、もう少し長期的に関わっていく時間が欲しいと思った。
- ・患者・市民パネルから出た要望がどの程度どんな形で反映されたのか具体的に示していただきたい。

■思うように活動が出来なかった

- ・個人的には、私がパネラーになって何かを成し遂げたという実感が少なかった。
- ・市民パネルとして具体的な行動をして形に残ることができなかった。

■交流会での他の方たちと知り合う機会が少ない・交流会以外での交流が難しい

- ・第2回目の検討会のみでの出席であったが、同じテーブルの方たちとは交流出来たが他のテーブルの方と知り合うチャンスがなかった。
- ・検討会以外での交流が難しいと感じた。

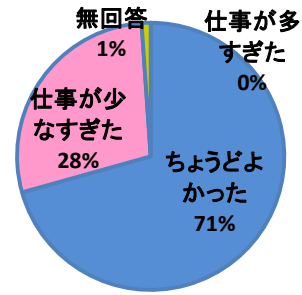
■その他

- ・特になし
- ・検討会に参加したかったが遠出するには付き添いが必要な体なので付き添いの旅費・宿泊費を検討してほしい(謝礼で賄えない)

問2 この一年間の患者・市民パネルの活動についてお聞きします。

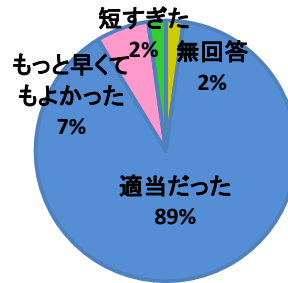
(1) 仕事量についてはいかがでしたか。

仕事が多すぎた	0
ちょうどよかった	65
仕事が少なすぎた	26
無回答	1
合計	92



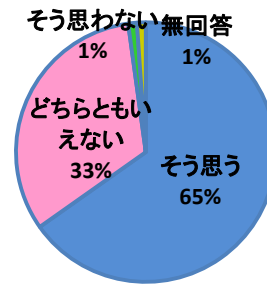
(2) お願いした内容の締め切りはいかがでしたか。

短すぎた	2
適当だった	82
もっと早くてもよかった	6
無回答	2
合計	92



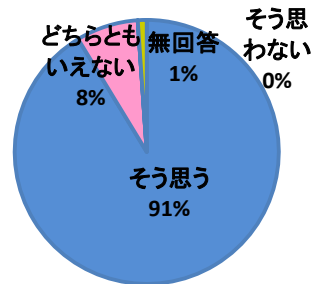
(3) 依頼された内容はやりがいのあるものでしたか。

そう思う	60
どちらともいえない	30
そう思わない	1
無回答	1
合計	92



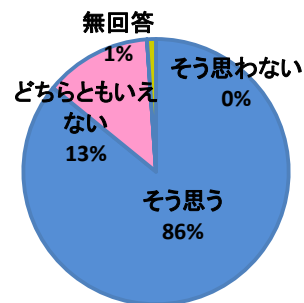
(4) 以前よりもがん対策、あるいは、がん対策情報センターの活動に関心をもてた。

そう思う	84
どちらともいえない	7
そう思わない	0
無回答	1
合計	92



(5) 以前よりもがん対策、あるいは、がん対策情報センターの活動を盛り立てたいと思えた。

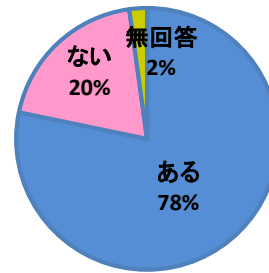
そう思う	79
どちらともいえない	12
そう思わない	0
無回答	1
合計	92



問3 事務局からお願いをした活動(原稿チェックや検討会への参加)以外で、がん対策情報センターが行っている活動について、周囲の人に伝えたり、情報を集めたりなど、この一年間で行ったことはありますか？

(1) 地域や患者会で、患者・市民パネルに関連のある活動をおこなったことがある。

ある	72
ない	18
無回答	2
合計	92



副問3-1 あると答えた方は、どのような内容ですか。具体的にお書きください。

- 掲示・説明をお願いした
 - ・「知れば安心がん情報」「がん情報探しの10か条カード」を市役所、病院、保健所に置いてもらった。
 - ・区役所の健康月間配布用に「知れば安心がん情報」を置いていただいた。
- 配布・紹介・説明をした
 - ・「知れば安心がん情報」などのパンフレットを外来患者さんに紹介した。
 - ・10か条カードなど、当初100部頂いた資料を医療セミナーで配布した。
- 自分がイベントに関わった・参加した・報告した
 - ・福島県内の「がんピアネット」設立に関わった。
 - ・患者サロンにおいて、改訂された冊子の紹介、およびがん登録についての取り組み状況を報告した。
- ホームページを勧めた
 - ・新たにがんにかかってしまったと相談を受けることが多く、ネット社会であるがゆえに情報があふれ、還って混乱したり不安が多くなったりする中で、まずは、「がん情報サービス」のサイトを見るように勧めている。

今年度で任期を終えられる方に伺います。

患者・市民パネルの活動経験を踏まえて、今後、地域での活動や身近な人との関わり合いの中で、活かしていけると思われることをお書きください。

- 接し方に心を配るようになった・支えていきたい
 - ・今までの経験を活かし、相手方のプライバシーを侵害することなく、思いやりを大切にし、お互いが笑顔になれるように接していきたい。
 - ・命と向き合う貴重な機会となり、今後関わっていく人たちのメンタルをしっかり支えたいと思う。
- 情報やがんに関わる事柄の発信
 - ・任期が終了してもがん対策情報センターが発信する情報や「患者必携」などを紹介していきたい。
 - ・病院で会う同じ立場の患者さんに本を勧めたり、情報提供ができればと思う。
- 新たな視野が広がった
 - ・ピアサポーターやグリーンケアに少しでも関わっていければと思う。
 - ・パネルの方々の様々な経験を知ることができ「がんになる」「がんの治療を受ける」ということに対し考えの多様性をもてた。